

実践女子学園中学校高等学校

中学入試

住所	〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-11	電話	03-3409-1771	FAX	03-3409-1728
URL	http://hs.jissen.ac.jp/		facebook	https://www.facebook.com/hs.jissen.ac.jp/	
帰国生受け入れ開始年度	2007年				
2019年度帰国生在籍数	中学1年:3人	中学2年:7人	中学3年:11人	高校1年:22人	高校2年:41人 高校3年:23人
帰国生のための部署/担当	グローバル教育部/中学教頭 松下寿久 先生(matsushita-toshihisa@jissen.ac.jp)				

帰国生入試について					
出願資格・条件	海外在住1年以上、帰国後3年以内(出願時)				
出願書類	海外在留証明書				
過去3力年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	21	19	18	3
	2018年	35	34	33	7
	2017年	29	19	17	3
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	中高ともに随時受付(ただし、欠員がある場合のみ。高校の編入は高校2年の3月まで)				
出願書類	海外在留証明書 海外校での最終学年の成績通知表のコピー				
募集	随時受付、学校に連絡				
帰国生に対する配慮					
帰国生と国内生は混合クラスになります。それまでの生活環境や学習歴が異なる生徒たちが、本校の伝統的教育文化を共有し、クラス内で切磋琢磨する環境こそ重要だと考えています。					
帰国生への学習指導					
本校では、帰国生、国内生問わず、個々の学習歴を踏まえたレベル別少人数多展開の授業を行っています。ネイティブ教員による授業も同様の展開で、一般クラスと中級クラスは週2時間、上級クラスは週4時間をネイティブ教員が担当します。また、高い英語力をもつ生徒を対象とした週1回の課外授業アドバンス・イングリッシュ・クラスや、英語ゼミ、オンライン英会話など、英語力の保持・伸張のための多彩なプログラムが用意されています。数学・英語については指名制の補習体制をとっています。理科・社会も必要に応じて特別指導を行っています。また、夏休みなどの長期休暇中にも指名制の補習や希望者対象の講座が実施されます。					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
入試に向けての事前準備…帰国生入試は11月に1回行われます。選抜方法は2科目(各科目50点30分)の学科試験で、国語・英語または国語・算数の選択になります。面接はありません。各科目の出題傾向や難易度は一般入試とほぼ同等ですが、帰国生入試は1科目50点・30分のため、問題量は一般入試のほぼ半分です。各科目とも、基礎・基本をしっかり身につけておけば十分に対応できます。英語の試験問題レベルは英検2級程度を上限とし、長文読解をはじめ、文法・語法に関する基本問題も様々な形で出題されます。リスニングやスピーキングはありません。また、高い英語力をもつ受験生を対象として、国語1科目のみで受験でき、合否は国語(100点)の得点に英検などの所持級を加えて決定します。英検4級は50点、3級は60点、準2級は80点、2級以上を所持していれば100点に換算します。これは一般入試ですが、英検などの高い級を所持している帰国生にとって大変有利な入試ともいえます。意識しておいてほしいこと…学習面や生活面できめ細かなフォローはしますが、帰国生として特別扱いはいしません。あくまでも本校の教育を、一般の生徒と同じように受けていただくわけですから、本人はもちろん、保護者の方も、学校の方針に賛同できるか、また、お子さんに合う学校かどうかじっくり見極めていただくことが非常に大切です。本校は、日本の女子教育を代表する学校であり、全校生徒1500人の大規模校です。学校説明会などを通して、在校生や教員の様子、教育施設や校風などをご自身の目で確かめ、納得の上で入学していただきたいと思ひます。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
帰国生・国内生問わず、全体の約30%が理系志望、海外大学希望者は約2%です。約90%が私立大学に進学しており、うち25%は併設大学に進学しています。英語を用いた入試で進路を実現する生徒も多く、また学部学科など生徒の進学・進路希望は多岐に渡っています。6年間のキャリア教育を経て、生涯を支える「人間力」「実践力」を身につけ、校歌に詠われている「にはへ やしまの 外までも」の歌詞のとおり、生徒たちは世代や国境を越えさまざまな舞台で活躍しています。					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
【交換留学】海外の教育協定校で約2ヶ月間学ぶ制度で、生徒を交換します。留学先はドイツ・タイ・中国です。【派遣留学】ニュージーランドのニュージーランドランゲージセンターで6週間学ぶ制度です。【1年留学】高校生の希望者が利用でき、単位認定されます。【海外研修】中学校、高等学校のそれぞれで、夏休み中に11日間の海外研修があります。中学生はブリスベンで日本とオーストラリアの文化の比較を通じて国際理解を深め、高校生はモートンベイ(オーストラリア)で、女性の能力開花をテーマに女性の生き方を学びます。【海外大学指定校推薦制度】アメリカのアルフレッド大学、ベイパス大学、ウエスタンミシガン大学については推薦入学制度が整っています。また留学カウンセラーの教育、栄陽子留学研究所との連携により、大学の選択から奨学金に関することまで、海外進学を希望する生徒を授業内でバックアップします。					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
本校では、帰国性の受け入れについて3つの目的を掲げています。1つ目は、帰国生が海外で身につけた能力や個性を生かし、伸ばすこと。2つ目は、日本の伝統・文化をきちんと理解し身につけ、日本人としてのアイデンティティをしっかりと確立させること。そして3つ目は、多様な背景を持つ生徒たちがともに生活する中で、互いに違いを認め合う土壌を育み、学校全体をグローバル教育の舞台にすることです。どんなに外国語が堪能でも、海外経験が豊富でも、それだけでは国際人としての十分条件ではありません。母国への深い愛情や誇り、そして、他に認め受け入れる共存の精神こそが、グローバル化の原点と本校では考えています。海外で経験した言葉の違いや習慣に対する苦勞や、それらを克服するために費やした努力は、すべて自分を成長させるための貴重な体験です。海外でのあらゆる経験を肯定的に受け止め、存分に学んでほしいと思ひます。					
帰国生対象の英語教室や各種講座					
<input type="checkbox"/> きめ細かな英語の授業・習熟度別少人数多展開の授業(上級クラスはネイティブ教員の授業が週4時間)・指名制の補習制度・ネイティブ教員11名で対応・約4000冊の洋書所蔵 <input type="checkbox"/> 英語課外プログラム【ハイレベル英語】・AEC(Advanced English Class)・AEC キャンプ【コミュニケーションスキル】・English Seminar・オンライン英会話【アカデミック イングリッシュ】・Reading Class・Model United Nations(模擬国連の参加)・English Academic Skills・英語ゼミ					